

氏名	山口乃生子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	成人看護学 国際保健				
学位	博士(保健学)				
学歴	2003年北里大学大学院看護学研究科 2009年東京大学大学院医学系研究科博士課程				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、08年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師 17埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本ハンセン病学会 日本国際保健医療学会 日本看護学教育学会 日本公衆衛生学会 日本環境感染学会 日本看護科学学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1	ネパールにおけるハンセン病患者および回復者を親に持つ思春期青年の抑うつ傾向、自尊心および健康関連QOLに関する横断研究	共著	日本ハンセン病学会雑誌; 85(2); P.65-68	山口乃生子, Krishna C Poudel, 神馬征峰	2016.8
2	看護専門科目におけるPBL-T・TBL混合型教育プログラムの評価	共著	保健医療福祉科学; 6; P.10-15	宮部明美、鈴木玲子、常盤文枝、山口乃生子、大場良子	2017.3
(3) 学会発表					
1	Health-related quality of life, depression, and self-esteem in adolescents with leprosy-affected parents: results of a cross-sectional study in Nepal	共著	第89回日本ハンセン病学会総会・学術大会; p.19	山口乃生子, Krishna C Poudel, 神馬征峰	2016.6
2	PBL・TBL混合型プログラムの評価 批判的思考態度、社会人基礎力、グループ学習による課題解決能力から	共著	日本看護学教育学会第26回学術集会; P.161	宮部明美、鈴木玲子、常盤文枝、大場良子、山口乃生子	2016.8
3	規則正しい生活習慣を心がけている人の特徴 ハワイ州と松本市(長野県)の検討	共著	第75回日本公衆衛生学会総会; P.390	金さやか、延原弘章、本間三恵子、若林子ヒロ、伊藤奏、内山真理、加藤朋子、北畠義典、新村洋未、山口乃生子、柳川洋	2016.10
4	地域に居住するハンセン病回復者の在宅支援に関する研究	単著	第75回日本公衆衛生学会総会; P.535	山口乃生子	2016.10
5	日本とハワイの健康関連ライフスタイルの国際比較	共著	第75回日本公衆衛生学会総会; P.667	延原弘章、本間三恵子、若林子ヒロ、北畠義典、内山真理、伊藤奏、加藤朋子、新村洋未、山口乃生子、金さやか、野口有紀、柳川洋	2016.10
6	添加物の摂取制限と階層意識・学歴・健康情報収集行動との関連 本邦・ハワイの比較	共著	第75回日本公衆衛生学会総会; P.668	本間三恵子、延原弘章、若林子ヒロ、北畠義典、内山真理、伊藤奏、加藤朋子、新村洋未、山口乃生子、金さやか、野口有紀、柳川洋	2016.10

(4) その他					
1	TBL事始め Team Based Learning教育の体験レッスン(交流セッション)	共著	日本看護学教育学会第26回学術集会; P.125	鈴木玲子、常盤文枝、山口乃生子、大場良子、森山明美、齋藤美紀子、齊藤史恵	2016.8
2	初心者のための国際雑誌への論文投稿のコツ	単著	保健医療福祉科学; 6; P.53-54	山口乃生子	2017.3
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		地域におけるハンセン病回復者のQuality of Deathを支える終末期ケア(研究代表者)		2016.4~2018.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		看護師のキャリア開発に資するPBLを活用した教育プログラムの検証(研究分担者)		2013.4~2018.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	(学部)成人看護学Ⅱ	2016.7	動画を用いたフィジカルアセスメントに関連する演習を行い指導した。		
2	(学部)グローバルヘルス	2016.10~2017.1	地球規模で考える健康課題について視覚教材を用いて講義を行った。		
3	(学部)成人看護学Ⅲ	2016.10~2017.2	急性看護についてPBLやTBLを用いて学生の能動的学習を促進した。		
4	(学部)卒業研究	2016.4~2017.3	看護研究の過程の一連が理解できるよう指導した。		
5	(大学院)保健医療福祉学際英語	2017.1	国際学会への投稿やシンポジウムに関連した資料作成、国際共同研究についての基礎など教授した。		
6	(大学院)看護政策	2017.1	国際的な看護の動向やグローバルな健康問題について教授した。		
(2) 演習					
1	成人看護学Ⅱ	2016.7	動画を用いたフィジカルアセスメントに関連する演習を行い指導した。		
2	成人看護学Ⅲ	2016.10~2017.2	急性期に関する看護技術演習をシミュレーターを用いて行った。		
(3) 実習					
1	成人看護学実習Ⅱ	2016.5~2016.6	看護学科3年生を対象にした成人看護学実習Ⅱを担当し、慢性期の患者の看護について学生が理解できるよう指導した。		
2	総合実習	2016.7~2016.8	看護学科4年生を対象にした総合実習では、学生の課題に応じた患者選定や実習内容を検討し実施した。		
3	成人看護学実習Ⅲ	2016.9	看護学科3年生を対象にした成人看護学実習Ⅲを担当し、災害時の看護について学生が理解できるよう指導した。		
4	IPW実習	2016.6~2016.10	学科4年生を対象にし、ファシリテータおよび病院担当者との調整を行い、学生が演習を行いやすい環境を整えた。		
(4) 論文指導					
1	該当なし				
(5) その他					
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会等の講師					
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ		開催年月
1	平成28年度キャリアラダー研修「看護理論Ⅱ」	越谷市立病院	中範囲理論を使用した看護実践		2016.1
2	エドゥケーターナース研修	自治科大学附属さいたま医療センター	中堅看護師を対象とした教育力向上を目指したエドゥケーターナース研修		2016.9~2016.12
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等					
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称			任期
1	該当なし				
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				

5. 学内運営(委員会委員)		
1	大学歌企画委員会 委員	
2	男女共同参画推進委員会 委員	
3	地域連携推進部会 委員	
4	看護学科 カリキュラム検討・運営委員	
5	看護学科 学年担任(2年)	
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)		
	受賞名	主催
1	該当なし	
	受賞年月	
7. 特許の保有状況		
	特許名	特許番号
1	該当なし	
	登録年月	
8. 特記事項		
1	板橋中央看護専門学校 第一看護学科 非常勤講師	
2	板橋中央看護専門学校 第二看護学科 非常勤講師	
3	北里大学大学院看護学研究科 非常勤講師	
4	山形県立保健医療大学 非常勤講師	
5	日本ハンセン病学会雑誌 査読	